

常磐新聞
刊夕日五十月八
發行所 福島縣石城郡平町字長橋町廿五番地

一冊の代金で
御希望通りな
五冊の雑誌が
自由に読める
川崎文庫

眼鏡
常盤屋
電話三三九番

常磐文藝
蓮（高月會）
運開く方丈の庭の秋明かな

地賣
五丁目十一番
宅地百六十二坪
加藤營業所

家賃
仲間町
電話一四〇番
鶴屋

絶対はげぬ
染の特色
三井呉服店

普選に覺悟を要す
三派聯立の現内閣はその政綱中普選の實行を一大眼目として高く掲げて居るのみならず國民一般も亦之を竊に現内閣に期待して居ることは疑ひを入れない恐らくは現内閣の奇託に孤負せぬやうに一日も早くその斷行を期して居ることであらうが冬期の議會には政府案として提出せらるることであると思ふそれによつて先づ第一に注意しなければならぬことは普選に對する國民の覺悟如何と云ふことである從來の選舉場裡に見るやうな情弊を此普選實施によつて一掃することが出来るか如何か例へば投票の買收賄賂の横行なごいふこと

これはこれまでのやうな制限選挙に於ては固より排斥すべき事であると誰も考へて居るが因習の久しきことを如何にもすることが出来ないう状態となつたのである爲に總選舉毎に夥しき黄金が天下に散布せらるゝのであるこれを四年毎に地方を潤す一種の手段なりと見れば論議はないがそれがために選舉界を腐敗せしめ自己の權利を金に依りて如何様にも左右せらるると見れば由々敷大事件であること云はねばならぬ若し此弊風が何處迄も繼續して普選の斷行せらるゝ曉に於ても尙國民全體が依然として無自覺の状態にありたりとすれば選舉人が現在の三倍以上に上ることであるからその競争の劇烈は勿論従つて腐敗は現在以上であると覺悟しなければならぬ要するに問題は國民の決心如何にあるのであるから今日から豫め取越苦勞をする必要もないかも知れぬが兎に角國民自身が非常なる決心を以てこれに對する覺悟がなくてはならぬ即ち國民一人が國家を負つて立つ覺悟がなくてはならぬ従つて若し自己一人がその權利の行使を誤つたが爲に天下多數の國民にその累を及ぼす結果となることを豫め知悉して居らねばならぬ左に斯くの如き自己の權利を尊重するの態度に出づれば他方その義務を遂行する事に於ても亦決して無責任なこととは出来ないと思ふ

参人葡萄酒
舊盆十七日迄
特賣
升一圓二十錢
佐藤葡萄酒舖

入山探炭株式會社
八月九日五坑々内變災の際には直ちに御見舞被下且又同十三日葬儀の際も御多用中にも拘らず態々御會葬被成下御厚情の段奉深謝候御混雜中自然御尊名向洩も可有之哉ご被存不取敢以紙上此段御厚禮申上候
大正十三年八月十五日

鶴仙松吉屋本店
東京 コークス値下
電話二四一番

Table with exchange rates and company names including丸登株式会社 and 川添房二郎

今曉の激震で小名濱測候所地震計の針が折れた

人々は大地震の再来かと思き、本町通りは恰も裸人形の行列

震源地は磐城沖らし

關東大地震の一週忌も間近になつて人々は恐るべき地震の大被害を新らたに記憶から呼び起して居る際、今曉三時平地方はまごろむ夢を破つて可成りな強震に襲はれた

衆人の驚きは一方ならず

ならずテツキリ大地震の再来と雨戸を蹴破つて戸外に逃げ出す者も多く平署樓上から見た本町通りは恰も裸人形の行列の如き觀があつたとの事から考へても如何に人々に對して脅怖の念を抱かした激震であつたかが解る其後

數回の餘震はあつた

が幸ひにして何等の被害なくサズ東京はヒドかつた事であらうと夜の明くるを待つて地震見舞へを打電する爲め平局に走せ付けた者

平町に異彩を添へて

南裏新道路近く開通

幅六間殆んど一直線に

某地主との交渉も解決

平町南裏道路は既報の如く本月中開通し幅員六間而も殆んど一直線の新道路として平町に新なる光彩をはなつべく唯工事の終点附近なる某地主は道路の爲に所有地一部の提供を喜ばず附近町議その他二三介人調停に努めたるも急速解決の運びに至らなかつたが該土地は國有土地なる溝渠の提唐敷地にして先年町の諒解を得同人に於て或る種の施設を行ひたるもので公益の爲當

然町に歸屬するものなると同時に大正十四年度の事業として該道路の爲必要なる同人所有土地も二三有志の斡旋奔走により土地收用等の物議を醸さず多分圓滿解決の運びに至るであらうと

入山炭礦へ

御下賜金

明日礦務所にて入山炭礦瓦斯爆發遺難者に對し兩陛下より御下賜金の御沙汰ありしは既記の如くであるが翌十六日午前十時

危い友達を救はんとし共に溺る

深淵に浮んだ二つの遺骸

哀れ二少女の命空し

石城郡好間村大字上好間字上の原伊佐吉の三女金成アヤ(一)は昨日午後三時頃同村好間川にて友達なる同村農徳次郎の孫大竹ハツイ(二)と共に水遊びをして居た際突然ハツイは深處に陥り盛んに救ひを求むる爲め多少水泳ぎの心得あるアヤは直ちに救助せんとして其後を追つたが流れが急な爲

カティラン

海水浴と頭髮

禿頭病は頭髮に油氣がなくなると起るものですから海水浴に行つた時は、婦人はもとより男子も海水浴を用ふるのがよい海水浴をしてから必ず水で髪を洗ひ、香油をつけておくと頭髮を丈夫にします水で洗はずに

式を今十五日午前十時より同村小學校で催し警中教諭の講演並に薩摩琵琶其他餘興あつた由

大城炭礦で

瓦斯が爆發

坑夫一人重傷 石城郡川部村大字小川大城炭礦坑夫照井定見(一)は十二日午前六時頃同坑内十二號で採炭作業に従事中突然瓦斯爆發し定見は大火傷を負ひ瀕死の重傷を負つた同所は本月三日瓦斯觀測の際に瓦斯が発生してゐるので通行遮断してあつたところ

不平受付

路上に砂を 胡摩澤から女學校に通ずる傍らの山を崩して砂利を取つて居るが其砂利を道路に積み上げて置くので通れなくて困る何んとかして戴たい(無名生) 伏見助役の答 其砂利は南裏新道の埋立に使用するものなのですから永く置く譯ではありません殊に通行上不便を來さしめては困りますから早速取り拂へませう

白髮の豫防法

病後や心配事の續いたとき等に生じたる白髮は、一週間に二三度づつ、ワセリンで地肌をマッサージすること効能があります、しかし手取り早くは治りません白髮の前驅としてくる赤毛を防ぐには「髮自慢」を塗るとよい。

常磐片々

發電所問題の張本人南土木課長が濱通り視察

待つてました千兩役者

折角の御入來水道の水デモ召し上れ

トコロが素通り

取り逃がしたか残念至極

地軸が怒つて搖ぎ出した夫れが今曉の地震

友を救はんとして力盡き少

女二名相擁して溺る

白石美談小野訓導の感化か

鶴仙と鮮菜

御嘉納

光榮に浴して

御別邸に伺候

石城郡にては各種團體及個人より翁島高松宮御別邸に御避暑中なる東宮同妃殿下に地方の特産品を献上すべくその筋の手を経て夫々傳献方出願せる旨既報の如くであるがその内此程

一銘酒鶴仙 十二本 石城郡平窪村松吉屋 松本 金次郎

一鮮菜 一〇 同郡 泉村農會

以上御嘉納の旨御沙汰があつたので右光榮に浴して鶴仙は謹醸者松本氏が野菜は泉村長中村立躬氏が携帶何れも昨十四日翁島御別邸に伺候した

水野郡長が

御機嫌奉伺

廿日に出發

水野石城郡長は翁島御滞在の攝政宮殿下の御機嫌奉

社告 舊盆祭の爲め工場休業に就き明紙休刊 伺の爲め廿日午前六時十五分の平郡線にて出發する由

石城郡町村の吏員講習

四倉校にて

既報石城郡町村長會主催町村吏員實務講習會は廿日から五日間四倉小學校にて開催の筈であるが尾形産業主事の『産業組合概論』岸田稅務の『町村實務に就て』船尾縣屬町村政務に就て等ある

石菫蒟增收

病害なく

石城郡の蒟蒻は年産額數十萬圓に達するが本年は山手方面の特産地に於て病害なく早魃の爲め枯死したもの

松木屋松友會

平町四丁目松木屋菓子店にては店員及び工場員の融和を圖り店務の向上に資せんが爲め松友會を組織し毎月二回宛例會を催して居ると

募集

文藝其他一般投稿を募集します